

■ ゲストスピーカー 木更津東ロータリークラブ 藤野 勉 様
 グローバル補助金によるネパール農村部における「ヤギ銀行」プロジェクト



ネパール第2の都市ポカラから西へ約30km、デコボコの山道を揺られること80分、ようやくダンプス村に到着します。そこには、神のすむ山といわれるマチャブチャレが眼前にそびえ、まるで桃源境のような高原の村が広がっています。

私達クラブでは、例会での卓話がきっかけで、この村に2009年から支援を続けています。最初に村の小学校の環境整備からはじまり、2010年には自助努力と持続可能をキーワードに「ヤギ基金」プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトは、ネノミール農村部ではヤギ10頭を飼育すれば生活が成り立つ。という話をヒントに学校に行くことのできない子供を抱えた貧困家庭にメスヤギ2頭を贈り、自らの努力で飼育・繁殖させる事により、貧困の解消と子供達に就学の機会を与えようというものです。2011年1月に現地の元村長デウカジ氏の協力で4家庭に8頭のヤギを贈りました。そして2011年12月にはクラブのメンバー6名と共に現地に赴きプロジェクトの実地検証をしました。結果ヤギの繁殖は順調に進み、一定の成果が確認できました。その後の調査では2014年11月現在、ある家庭では何と35頭のヤギを繁殖させたという事です。

この現地調査の際にRCポカラを訪問し、この事業に対する協力を要請し心よく承していただきました。2012年には、ロータリーの友の記事を読んだ新潟市の万代RCの協賛をいただき、RCポカラの協力の元に、洪水で多くの家が流出したサルデ、イコーラ村の9家庭に18頭のヤギを贈りました。こちらも家の再建ができず離村した2家族を除き、順調に繁殖が進み現在ではそれぞれ8頭から14頭のヤギを保有し、生活再建ができたと感謝されています。

2012年クラブでは、この「ヤギ基金」プロジェクトをもっと広範囲にそしてより多くの家庭を支援できるように、現地にヤギ牧場をつくり、そこで繁殖させたヤギを今度は贈呈ではなく貸付け、そして3年後には利息を含めて返還してもらうという「ヤギ銀行」プロジェクトを立案しました。牧場という拠点を持つことで、より多くのヤギを保有することができ、そして貸付けたヤギを返還してもらうことで持続可能なサイクルが、できます。クラブでは、このプロジェクトをグローバル補助金に申請することを決定し、RCポカラ及び現地での実施団体NPO法人ダンプスフレンドシップ協議会と協議を重ねました。

そして2014年5月31日ロータリー財団よりGG1411136「GOAT BANK」として総額58,693ドルの承認を得ました。具体的な活動内容は

1. ダンプス村に約1haの土地と建物を借り、その土地を造成し周囲にフェンスをめぐらし、建物は牧舎にリフォームする。(グローバル補助金で、は土地の取得や新築は認められていない)
2. メスヤギ50頭とオスヤギ2頭を購入し、メス30頭は15家庭に貸し出される。20頭については牧場で繁殖させ、増えたメスはその都度貸し出される。オスについては売却し、牧場運営の経費の一部に充当する。
3. 貸付けたヤギは3年後に元本分メス2頭が返還され、4年後には利息分としてメス1頭が返還される。そして受益者がヤギを売却する時は、必ずNPO法人ダンプスフレンドシップ協議会を通して売却する。これはヤギの売却状況のチェックと売却価格が不当に安くならないようNPO法人ダンプスフレンドシップ協議会がこれを調整するためです。
4. これらのヤギ銀行のシステムを円滑に運営するため、関係者に対する教育・訓練をする。
5. このグローバル補助金の実施期間は2014～2016の3年間である。

この承認を受けて、現地では8月より牧場造成及びヤギ飼育舎のリフォーム工事に着手、12月12日にオープニングセレモニーが挙行されることになりました。クラブでは会長をはじめとする8名のメンバーでこのセレモニーに参加しました。12月10日ポカラ入りRCポカラと打ち合わせを兼ねた交歓会。12月11日ダンプス入りRCポカラ現地住民を交えた前夜祭と大いに盛り上がる中に、セレモニー当日を迎えました。この日は現地でもこれ以上はないという晴天に恵まれ、ヒマラヤの山並みがまるで手にとるようにくっきり望むことができ、参加した誰もが神の祝福(God Bless)を感じているようでした。

セレモニーは主賓のネパール政府家畜担当の地域責任者ドクタープラカススレスタ氏をはじめ多くのゲスト、RCポカラの会長以下のメンバー、村の住民約200名の参加を得て挙行されました。ドクタープレカスはその挨拶の中で、政府はこの新しい形のプロジェクトがネノミールの地域の貧困解消に役立つ事を期待している。そして政府としてこのプロジェクトに対する支援を約束すると述べ、このプロジェクトに対する期待の大きさを感じさせました。そして参加したゲストの手によって6家族に12頭のヤギが引き渡され、いよいよこのプロジェクトがスタートいたしました。

しかし、残念ながら現在このプロジェクトは大きなレッドロックに乗りあげております。というのは、ポカラクラブ側からの事業の中間報告が提出されず、事業自体が休止の状態にあります。

原因はポカラクラブの内紛によるもので、このプロジェクトのポカラ側の責任者がクラブから除名され、報告書の提出を拒んだためです。この間当クラブも2回にわたり関係者をポカラに派遣し、解決にむけて努力をしてまいりました。そして、最終的にはRIに監査を要請しその結果ようやく事業報告書がRIに提出され、現在RIによる監査結果を待っているところです。

この監査でOKとなれば、プロジェクトの再開という選択肢もあるのですが、現地の実施団体であるNPO法人も我々も少なからずポカラクラブに不信感を抱いております。いつれにしても現地ではヤギ牧場も完成し、ヤギも順調に育っており、事業自体は政府や地域からも期待されておりますので、今後どのような形でこのプロジェクトを支援してゆくの、検討をしているところです。

■ ニコニコBOX

- ・遠藤…会長就任3か月、皆様のお力添えに感謝申し上げます。山崎会員のご入会歓迎申し上げます。
- ・渡辺…WRG遠藤年度初戦で優勝させて頂きました。ありがとうございました。
- ・野城…先日は大変お世話になりました。
- ・花光…WRGでは津田PP、渡辺PSに感謝です。またお願いします。
- ・三上…藤野様、卓話をありがとうございました。
- ・友田…わがふる里、熊本の視察に行きました。かなり厳しい状況です。



本日の出席	総数	対象者	出席	欠席	出席率	ニコニコBOX	合計	次週のプログラム
	55名	49名	41名	8名	83.67%		36,000円	
前々回修正	メーキャップ			欠席	出席率		累計	10月4日(火) 米山記念奨学委員会主催 クラブフォーラム 点鐘 12時30分 東天紅
			2名	7名	84.44%		403,000円	